

島を楽しもう

● Shima 2 Net

(しましま ねっと) 発足

「橋が架かってから、今治や松山に行くことが増えたね」

橋が架かり便利になった。お店やイベントなど様々な情報も島外からたくさん入ってくる。今治や松山、本州へと出かけやすくなり、仕事や行楽の話題はもっぱら島外に向けられるようになった。

「島で何か楽しいことない？島の情報って入ってこないよね」

島の情報がないなら、自分たちで情報を集めて発信しよう。島に楽しいことがないなら、みんなが楽しめるイベントをしよう。とにかく、「この島での生活を楽しむために何かしよう」と主婦の井戸端会議が事の始まり。07年4月のことである。

● 島生活情報紙

[Shima 2 times] 発行



島生活情報紙
Shima 2 times

まず、この島のよさを再発見し、出会いや交流の場を広げられたらと島の情報紙を発行することに。

島でもごく一部の人は知らない地の魚介類や野菜を使った日替わりランチのお店を紹介したり、Shima 2 Net主催や協賛のミニイベントを企画し、楽しく交流できる場を提案したりすると結構反響があった。また、島の気候と景観に魅せられ、第2の人生をここで移住してきたご夫婦。全国各地で個展を開催し、生まれ故郷にUターンした陶芸家。夢の実現のために海外に飛び立った若者や日本一をめざし練習に励む空手少年など素敵な島人も登場すると、ちょっとした話題にもなった。

無理をせずと年一回の発行であるが、



Shima 2 Net
(しましま ねっと) 代表
村上 知津子
(今治市宮窪町)

第1号のA4サイズ1000部から第3号は紙面も発行部数も4倍となり内容も充実してきた。

● [Shima 2 クラフト市場] 開催

次は、集めた情報をもとに企画したのが「Shima 2 クラフト市場」。プロのアーティストはもとより、多彩な趣味、特技をもっている方がこの島にもたくさんいることを再認識。おじいさんが作る紐



クラフト市場のポスター



クラフト市場の
Shima 2 カフェコーナー

いの島々からも集まり、島内外から約1200人の人が来てくれた。参加者からは「楽しかった。また来年も…」という声をたくさんいただき好評だった。島の魅力もアピールできたし、もちろん、私達も存分に楽しんだ。



クラフト市場のキッズコーナー

籠、おばあさん自慢のいなり寿司、手作り雑貨やお総菜にお菓子など、これらを集めたら島の魅力満載の楽しいイベントができる。

第2回目の今年は、「しまなみ海道10周年記念事業」に参加して盛大に開催できた。約60の出店者は、松山や今治、しまなみ海道沿

さて次は、自宅の空き部屋をメンバーでリフォームしてギャラリーを去年の春にオープン。クラフト市場で出店してもらった作品や商品をここで引き続き紹介し、販売もするようになった。島特産のみかんジュースや手作りスイーツも用意し、島内外の来訪者にくつろいでもらいながら情報交換や交流を楽しんでいる。

●「Craft gallery つまづみ」オープン

大盛況だったクラフト市場



自分たちが暮らしている島や島の人々の魅力を知ることが島の暮らしを楽しむことにつながる。これからもこの島での出会いや交流の輪を広げ、何か楽しいことはできないかと、主婦4人がギャラリーに集っている。「島は楽しいよ」と島内外に発信するために。

●これからも

「こんな場所がほしかった」と常連さんもあるが、メンバーそれぞれの生活に負担とならないように利益は度外視で週1回程度の開店。これも楽しみながら活動を続ける秘訣かも？



ギャラリーに
飾られた作品



ギャラリーで談笑